

石!?! あつめてみました

～青森県立郷土館サテライト展～

観覧者
45,000人
を記録!

県内産の鉱石や化石、石材の他、人々の生活に関わる石や芸術作品など、青森にまつわるさまざまな石の資料をあつめ、さまざまな角度から石の楽しさや面白さを紹介しました。石のアート作品やアクセサリーなどの制作イベントも開催。「おもしろい石・きれいな石がたくさん見られてよかった」「青森の魅力を石の視点から再発見するいい機会になった」などの嬉しい感想をいただきました。

会期：令和7年11月15日～令和8年1月18日
会場：青森県立美術館

令和7年度 青森県立郷土館サテライト展

観覧料 無料

令和7年 11月15日(土)～12月25日(日)
令和8年 1月18日(日)

会場 青森県立美術館 企画展示室A・B(地下2階)

休館日 11月25日(火)、12月8日(月)、12月22日(月)、12月26日(金)～2026年1月1日(火)、1月13日(火)

観覧料 9:30～17:00(入場料1,300円まで)
キッズミュージアム開館日 2026年11月15日(土)、11月20日(土)、2026年1月17日(土)14:20:00(入場料1,300円まで)

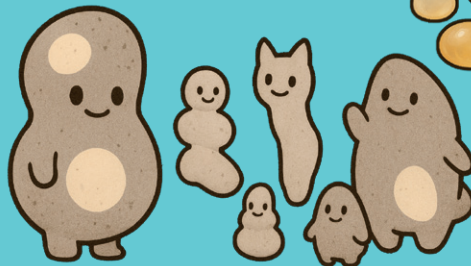
主催：青森県立郷土館 共催：青森県立美術館

am-museum
青森県立美術館 青森県青森市二丁目8-14
TEL 017-777-1388 Fax 017-777-1388
ホームページ <https://www.musekita.com>

※観覧料は別途お支払いください。入場料は別途お支払いください。



青森県石が突き破ったトタン板

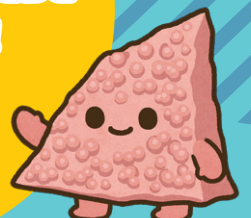
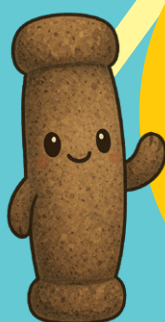


Contents

- p1 石!?!あつめてみました サテライト展
- p2-3 博物館がやって来た! - 旅する博物館 -
- p3 自然観察会・まちかど探偵団
- p4-5 その他の館外活動
- p6 郷土館 重大ニュース
- p7 R8開催決定!!「思い出のがっこう」(仮)
- p8 R8郷土館イベント



「石!?!あつめてみました」
の会場風景をYouTube
で大絶賛公開中!



博物館がやってきた！各地から感激の声続々 弘前大学資料館では過去最多*の観覧記録！

*1日あたり入館者数の平均値

たびハク 2025 ～旅する博物館～

青森の記憶をめぐる穴感の旅

北はむつ市から南は十和田市まで、県内各地で地域ゆかりのテーマの展示を開催。「展示を見ながら会話が弾んだ」「資料を通じて世代を超えたつながりが生まれた」と行く先々の町や村で大きな話題と、五感を超える感動を呼び起こしました。

第一感

ようこそ！ 缶詰王国あおもりへ 魚の缶詰大集合！！

会期：4月26日(土)～5月6日(火・振)
会場：青森県観光物産館アスパム

「缶詰王国」として戦前から知られる青森の缶詰史を見て聞いて、最後は物販コーナーで舌鼓！観覧者は陸奥湾の海風に吹かれながら、五感で楽しんでいました。「昨年行けなかった『缶詰展』を見られてよかった。今後も期待してます」という嬉しい感想も。



第二感

～見て・知って～ あおもりの生き物たち

会期：4月26日(土)～6月15日(日)
会場：十和田市馬事公苑称徳館



青森県ゆかりの哺乳類・鳥類を剥製や写真で紹介。当館からは、約50点の哺乳類・鳥類の剥製を出品。観覧者の中には初めて剥製を見る方も多く、身近な自然への理解を深める展示会でした。

第三感

仏さまもビックリ!? 下北・津軽・南部のお盆行事

会期：6月26日(木)～7月2日(水)
会場：むつ市中央公民館

公民館が巨大な仏壇に!? お盆に来る「仏さま」の気持ちになって仏壇の中をめぐり、体感型のアトラクション展示。「地域毎の違いがわかった」「自分がやっている供養の意味を知れた」「今年のお盆を大事に迎えたい」など、観覧者の心理や行動の変化を促す展示になりました。



第四感

缶詰王国あおもり with 弘前大学

会期：6月21日(土)～8月28日(木)
会場：弘前大学資料館

缶詰王国の歴史やマイ缶詰の文化を資料200点で紹介！博物館×大学×観覧者が、失われつつあるふるさとの味の継承について共に考え、缶詰の未来をデザインする「みんなでつくる展示」になりました。資料館での入館者数は史上3位、1日平均では過去最高を記録しました！



写真でたどる 津軽なつかしの風景

第五感

会期：7月25日(金)～8月24日(日)

会場：常盤ふるさと資料館あすか

昭和30年代を中心とした津軽地方の昔懐かしい風景写真を展示しました。観覧者の方々は、ある方は当時



を懐かしみ、ある方は機械化されていなかった時代の農家の苦勞を思い起こしていました。

第六感

鈴木正治・きのしごと

会期：9月6日(土)～9月28日(日)

会場：青森市森林博物館

昭和・平成期に活動した青森市出身の彫刻家の鈴木正治の木彫作品を紹介しました。一本の木から多数の環を創り出し鎖のようにつなげた(つながり)、一枚の板を本のように閉じたり開いたりできる形にした(とじる)など約40点を展示しました。鈴木が創り出した独創的なカタチを目で見て触れて確かめて楽しむ機会となりました。



特別編

津軽が生んだ植物学者 郡場寛

会期：10月14日(火)～1月22日(火)

会場：弘前大学資料館

世界的な植物学者の郡場寛(1882～1957)は、第二次世界大戦中、現在のシンガポール植物園の園長として植物園を守り、現地の研究者たちと活動を続けました。戦後は、弘前大学第2代学長を務めました。本展は、同大学農学生命科学部、大学資料館、弘前市との共催展で、当館が所蔵する資料や愛用品で、偉大な科学者の人物像に迫りました。



シンガポールでのフィールドノート

珍しい動植物や化石・岩石に参加者大興奮！

海や山で 自然に学ぶ —自然観察会—

モリアオガエルの卵がいっぱい



7月6日(日) 十和田市 蔦沼観察教育林

南八甲田の蔦温泉周辺には、散策路が整備されたブナ中心の自然観察教育林が広がり、蔦沼などの沼が点在しています。



観察会では散策路を歩きながら、それぞれの沼の標高が異なる理由や、環境による植生の違いを学び、瓢箪沼では周囲の木の枝に下がったいくつものモリアオガエルの白い卵塊を観察することができました。

10月5日(日) 深浦町 行合崎海岸

1700～1900万年前にタイムスリップ！

海岸を造る岩石やそこに分布する植物を観察しました。海岸の岩石は溶岩が固まってできた流紋岩で、ルーペで鉱物などを観察しました。海岸付近では、多肉質な葉のキリンソウや仙人のひげのような毛が特徴的なセンニンソウが見られました。漁港付近の泥岩に含まれる海綿化石探しも行い、知的好奇心を刺激する一日となりました。



武士から菓子まで あおもりの魅力を再発見！

街を歩いてふるさとを感じる —まちかど探偵団—

であえてあえ！
ホンモノの武士も登場！

6月8日(日) 弘前市仲町 重要伝統的建造物保存地区



武家屋敷4棟を見学。武家の文化や所作を体感しながら散策しました。仲町は江戸時代中期以降、中下級武士の町として形成され、現在も板塀・生け垣が連なる通りの奥に岩木山が見えるという、昔ながらの風景が保存されています。

お菓子やサイダーにも歴史あり

9月28日(日) 青森市 本町地区

郷土館を起点に武内製粉所、青森製氷株式会社工場をはじめ、菓子や飲料にまつわる史跡をたどりながら、近代以降の食の文化と歴史を紹介。最後は、郷土館所蔵の昔懐かしい「チリンチリンアイス」の屋台を見学しました。地域に根付く食文化の豊かさを五感で味わう一日でした。



県内各地を飛び回り 地域と

郷土館はリニューアルに向けて休館中ですが、各地に出向いて

夏休み こどものくに

立体建物を工作しよう!!
石で作られた世界遺産などに挑戦!!

■ 7月26日(土)

■ 青森県総合社会教育センター

親子でピラミッドやチョウのペーパークラフト制作に楽しみながら取り組んでいました。出来上がった作品にも大満足!親子の絆も強まったようです。



冬休み づぐりまわし大会

■ 令和8年1月11日(土)

■ 青森県総合社会教育センター

津軽地方に伝わるコマ「づぐり」を回してタイムを競う恒例のイベント。今年は30名が参加しました。零下2度の寒さをもものもせず、会場内は熱気と興奮に包まれていました。



特別移動博

■ 津軽海峡文化館アルサス(佐井村)

■ 岩崎支所ふれあいと創造の館(深浦町)

資料の展示とワークショップで地域の魅力を再確認。「地元への愛情が深まった」「また開催してほしい」という声をいただきました。

◀ワークショップのようす

土曜セミナー

■ 毎月土曜日(テーマは下記参照)

■ 青森県総合社会教育センター

学芸員が最新の研究成果にもとづいて、楽しくわかりやすく、ふるさとの魅力を紹介しました。

● 平安時代の十和田火山噴火とその影響

島口 天

● 大平山元遺跡出土品重要文化財へ

杉野森 淳子

● 初めての人のための忍者講座

一みちのくの忍び達の実像を求めて一

小山 隆秀

● イザベラ・バードも見た!菅江真澄も見た!

北奥の奇習!!木の上で暮らす謎の若者たち

増田 公寧

● コケの魅力

原 裕太郎

● 米作りの歴史

～イネ・米・稲作についてくわしく学ぼう!

中沢 秀一

● 戦争と青森の科学者たち

太田原 慶子

● 明治期における交通史

東京-青森間の鉄道開業について

佐藤 良宣

● 必見!!全国に影響を与えた

青森県のすごい企業

伊丸岡 政彦

● 絵はがきと写真は語る

～おもりの昔のこと～

滝本 敦

● 土器の文様を見る

一青森市玉清水遺跡ほか一

藤原 有希



ともに活動する 県立郷土館

活動中です！一緒にふるさとの魅力を再発見しましょう！！

講師派遣事業

(令和7年度実績)

地域のさまざまな団体の求めに応じて、学芸員が多彩なテーマで講演をおこないました。

- | | | |
|--|--|--|
| <p>弘前地区女性会
増田 公寧</p> <p>炭酸飲料日本一！
青森県清涼飲料史</p>  | <p>長寿社会振興センター
増田 公寧</p> <p>雪と氷の文化史</p>  | <p>五戸町教育委員会
増田 公寧</p> <p>缶詰王国あおもり</p>  |
| <p>弘前地区女性会
佐藤 良宣</p> <p>青森県の鉄道のはじまり</p>  | <p>野辺地教育委員会
増田 公寧</p> <p>パン食文化と青森県</p>  | <p>(一社) 三内丸山応援隊
島口 天</p> <p>縄文時代以前の日本列島</p>  |
| <p>黒石市立中部公民館
増田 公寧</p> <p>国宝・絵巻
「病草紙」を読む</p>  | <p>西北小学校
教育研究会理科部会
島口 天</p> <p>西北地域の大地</p>  | <p>(公財) 黒石市民財団
太田原 慶子</p> <p>秋田雨雀について</p>  |
| <p>青森市荒川市民センター
管理運営協議会
増田 公寧</p> <p>暮らしを変えた昭和の家電</p>  | <p>弘前市相馬地区
地域おこし協力隊
小山 隆秀</p> <p>霊峰岩木山への祈り</p>  | <p>青森市中世の館
太田原 慶子</p> <p>蓑虫山人の軌跡</p> |
| <p>南地方小学校
教育研究会理科部会
原 裕太郎</p> <p>青森県の自然</p>  | <p>青森県消費者協会
増田 公寧</p> <p>本当にあった！
津軽の奇習 樹上で暮らす謎の若者たち</p>  | <p>下北ジオパークサポーターの会
島口 天</p> <p>下北の岩石のいろいろ</p>  |
| <p>長寿社会振興センター
佐藤 良宣</p> <p>青函連絡船の歴史</p>  | <p>岩木みらい協議会
小山 隆秀</p> <p>はじめての忍者</p>  | <p>家庭裁判所調査官協議会
増田 公寧</p> <p>家族をめぐる生活文化
一出生・若者・先祖観一</p>  |
| | | <p>鱒ヶ沢町教育委員会
佐藤 良宣</p> <p>五能線全通まで
～青森県に鉄道が来てから～</p> |

出前授業

(令和7年度実績)

実際に「モノ」(博物館資料)に触れて使って考える、博物館でなければできない特別な授業に、子どもたちも先生方も感激。「来年もまた来てね！」輝くひとみと笑顔が、大きな励みになりました。



- つがる市立稲垣小学校 (2回)
- つがる市立瑞穂小学校
- つがる市立時敏小学校
- 平内町立山口小学校 (2回)
- 五所川原市立栄小学校
- 六戸町立義務教育学校六戸学園
- 青森市立高田小学校
- 黒石市立東英小学校
- つがる市立向陽小学校
- 青森市立東中学校
- 青森市立合浦小学校 (2回)
- 八戸市立青潮小学校
- 三沢市立古間木小学校
- 青森県立弘前南高等学校
- 五所川原市立金木小学校
- 弘前市立豊田小学校
- 弘前市立福村小学校

郷土館★令和7年度重大ニュース発表★

郷土館リニューアル決定！ 新・県立博物館 整備検討会議を開催

現在、青森県立郷土館は、建物の一部の耐震性能不足のため休館中です。当館の展示を楽しみにされている皆様には、たいへん御迷惑をおかけしております。

しかし令和7年度は、青森県立郷土館の整備方法等について、有識者による青森県立郷土館整備検討会議が6回開催され、様々な検討が行われました。再開の時期については現時点で見通すことができませんが、休館中であっても、我々学芸員は新しい企画や展示を工夫して挑戦していきたいと考えています。お楽しみに。

(学芸課長 小山隆秀)



高校生や大学生から大きな期待の声！ こんな博物館が青森に欲しい!!

● 7月12日 弘前大学

● 7月2・9・23・24日 青森県立青森南高等学校

これからの県立博物館に望まれるものとは何か。地元の大学生や高校生と意見交換を行うワークショップを行いました。参加者は本県の博物館の未来について考え、「青森県に必要な機能を備えた博物館とは」「若い世代が利用するためにどうあるべきか」など、活発に意見を出しあっていました。意見は、新博物館の構想について有識者が協議する「郷土館整備検討会議」に提出されました。



郷土館の未来を考える授業 (左：青森南高等学校、右：弘前大学)

祝！大平山元遺跡出土品 重要文化財に

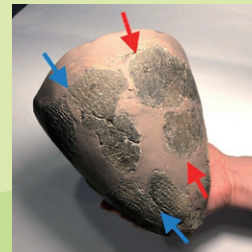
外ヶ浜町の国史跡大平山元遺跡の出土品 570 点が、9月26日付けで国重要文化財となりました。昭和46年に局部磨製石斧が発見されたことをきっかけに、昭和50年に当館で発掘調査を行い、旧石器時代の特徴を残す石器とともに縄文時代の石器と無文の土器片が国内で初めて発見されました。この発見は縄文時代の始まりを考える上で一石を投じました。発見から50年たった現在も研究され、新たな知見が得られています。



大平山元遺跡出土品
計570点
・青森県所蔵227点
・外ヶ浜町所蔵343点

新発見！えっ…○ではなく□だった!!

考古分野では、東通村下田代納屋遺跡出土土器の保存修復をおこないました。縄文時代早期の底部が尖った尖底土器です。これまでは胴部は丸いとされてきました。修復のために再接合をおこなったところ、胴部は矢印の部分に稜がある四角形であることが分かりました。今後は、展示や他館への貸し出しに活用していく予定です。



県民の宝！10万点の資料を未来に 届けよう 博物館IPMの実践!!

郷土館の収蔵資料は10万点！これらは、郷土の先人たちのあゆみを語るかけがえのない資料であり、県民の宝です。これらの資料を確実に未来に受け継ぐために、当館ではIPM（総合的有害生物管理）という世界標準の最先端の考え方にもとづいて、資料管理をおこなっています。基本は日常的なモニタリングと定期的な清掃。学芸員のみならず、館の職員が全員で協力しておこなっています。毎月、資料保存に関する研修会も実施し、資料の安定的な保存管理について、職員全員の意識向上につとめています。



大平山元 I 遺跡
旧石器時代から
縄文時代へ移り
変わる時期
194点

速報！令和8年度
サテライト展
大型展示企画決定！！

胸キュン♥なつかしの
学校生活にタイムスリップ！



「思い出のがっこう」(仮)

会期：12月4日～令和9年1月11日(祝・月)

会場：青森県立美術館コミュニティギャラリー

日本に学校制度が導入され、各地に学校が作られたのが明治時代。学校で学び社会に巣立つという営みはいまも続いています。教科の学習をはじめ、給食、部活動、行事、遊びなど、さまざまな資料や記憶を手掛かりにして、子どもたちが成長する場としての学校の変遷をたどり、地域の人びとにとってのその役割を再確認します。



主な展示内容

- | | |
|------|--------------------|
| 朝の会 | 学校の歴史 |
| 1時間目 | 教室の思い出 |
| 2時間目 | 学舎の風景 |
| 給食 | 給食の歴史 |
| 3時間目 | 遠足・運動会・修学旅行など |
| 放課後 | 部活動の様子、玩具、駄菓子、漫画など |
| | 閉校記念碑と地域 |



楽しいイベントがいっぱい！令和8年度イベント

7つの
わくわく♡で
ハッピー!!

令和8年度も 県立郷土館で ♡わくわく♡ しましょう!

わくわく♡
♡1

自然観察会 7/5・10/4

主に屋内で資料、映像などを活用し、自然の成り立ちや生きものの特徴を学びます。7月の初めに開催します。5月中旬から募集を開始しますので、今から予定をあけておいて！

※秋ごろに2回目の自然観察会開催を予定しています。

わくわく♡
♡5

出前授業 (随時)

学習のねらいに沿って、資料を効果的に活用しながら体験活動を行うプログラムです。主に小学校が対象ですが、ご要望に応じて中高向けに各教科に関連するテーマを設定することができますので、お気軽にお問い合わせください。詳しくは当館ホームページか教育普及プログラムのチラシをご覧ください。

土曜セミナー 5~3月

わくわく♡
♡2

郷土館には自然・考古・歴史・民俗・美術・学校教育など、さまざまな分野を専門とする学芸員がいます。青森県の知られざる魅力を再発見できる、笑いあり涙ありの90分です。みなさん一緒に楽しみましょう！

わくわく♡
♡3

特別移動博物館 8月・10月

開催地にゆかりのある資料を展示するとともに、参加型・体験型のイベントを行います。昨年度は佐井村で化石や土器・石器の展示、深浦町(旧岩崎村地区)で化石の展示をおこない、住民の方々から好評でした。今年度は、8月に横浜町、10月に田舎館村で開催します！

子どものくに 夏・冬

わくわく♡
♡6

小学校の夏休み期間に合わせ、子どもたちの学習を支援するワークショップを開催します。夏休みの自由研究にもピッタリ！（詳しい内容はHPでお知らせします）。冬は恒例の「づぐりまわし大会」。タイムを競い合いましょう！ふるさとの伝統文化に親しみながら、ふるさとへの理解を深める活動です。ぜひご参加ください。

わくわく♡
♡7

サテライト展 12/4~1/11^{R9} 「思い出のがっこう(仮)」

黒板の前でのドキドキの発表、にぎやかな給食の時間、放課後の校庭、運動会や学芸会のワクワク——。学校には、今も心に残る「楽しい思い出」がたくさんあります。この展示では、明治時代から続く日本の学校の歴史をたどりながら、授業だけでなく、給食・行事・遊び・友だちとの時間など、児童生徒の楽しい風景も紹介します。

共催展 (随時)

わくわく♡
♡4

郷土館と地元の博物館や資料館がタッグを組み、お互いの強みを生かした地域参加型の展示を開催します！今年度は、弘前市、十和田市、藤崎町、県立美術館、京都府立植物園などで開催予定！おたのしみに！

総合博物館 青森県立郷土館

住所 青森県青森市本町二丁目8-14

電話 017-777-1585

Fax 017-777-1588

H P <https://www.kyodokan.com>



ふるさとの魅力を

動画で発見！青森県立郷土館

YouTubeチャンネル

通称「キヨドチャンネル」

で、青森の魅力を博物館

ならではの視点でわかり

やすく紹介中！展示会の様子や

学芸員の解説も楽しめますヨ。

ぜひチャンネル登録を！

